

城から始まるうわじま革命

～城が主役。仕掛けるのは高校生～

坂本 愛梨
笠岡 美杏

増田 菜歩
松島 冴良

山口 颯大
村上 芳咲

指導教員

兵頭 禎憲



研究の動機

宇和島城は、私たちの地元・宇和島にある現存十二天守の一つであり、国指定重要文化財である。

しかし、その価値や魅力は地域住民にも十分に知られていないとは言えず、観光客の増加には課題があると感じた。

そこで、宇和島城の歴史や特徴を調べ、魅力を分かりやすく発信する方法を探りたいと考えた。

この探究を通して、宇和島城への理解を深め、観光客の増加につなげることを目的とする。



土台として取り組んだこと

- ・宇和島城ガイドを受け、現存十二天守としての歴史を学んだ。
- ・実際に現地を歩き、長屋門から城内までの見所や工夫を調査した。
- ・地域探求用のInstagramを開設し、情報発信を開始した。
- ・オリジナルキャラクター「シロマル」を考案した。



課題とこれからの展望

- ・城だけ見て帰ってしまう観光客が多い。
- ・城下町や商店街まで人の流れが十分に届いていない。
- ・公共交通機関のアクセスが不便。

という課題があると感じる。

そこで私達は、

「見る観光」から「体験する観光」をテーマに宇和島城を中心とした新しい観光の形を作りたいと考えた。

2年次の活動予定

- ・ストーリー性のある宇和島城ガイド
→通常の説明型ガイドではなく、物語を体験するガイドを行う。
→フィールドワークを行い、台本を作成する。
→五感（見る、聞く、触れる）を使った体験を取り入れる。
- ・謎解き、スタンプラリーで城下町へ
→城で終わらせず、城下町へ人を動かすことを目的とする。

上記のことから期待される効果として、

- ・宇和島城の満足度向上
- ・城下町、商店街への来訪者増加
- ・観光客の滞在時間延長
- ・地域と観光客の交流促進



シロマルだじょ～